令 和 8 年 度 上 半 期 の 業 務 状 況

1　事業の概況

上半期における業務量は、次のとおりである。

（1）用水供給の状況

区　　分	業務予定量	上期業務量	上期業務量／予定量
年 間 供 給 水 量	20,746,982㎥	10,374,197㎥	50.0%
一日平均供給水量	56,841㎥	56,690㎥	99.7%

2　経理の状況

上半期における経理の状況は、次のとおりである。

（1）収益的収入及び支出

区　　分	予　算　額	上期執行額	割合
用水供給事業収益	3,160,034千円	613,644千円	19.4%
用水供給事業費用	3,394,769千円	476,347千円	14.0%

（2）資本的収入及び支出

区　　分	予　算　額	上期執行額	割合
資 本 的 収 入	0千円	0千円	0.0%
資 本 的 支 出	1,016,429千円	493,539千円	48.6%

〔備　考〕

企業債未償還残高　　17,658,650,934 円　（令和8年9月30日現在）

Ⅰ　令和７年度石狩西部広域水道企業団水道用水供給事業決算の概要

本年度は、令和６年度第２期創設事業の完了に伴い札幌市への通水が開始されたことを受け、施設の適正な維持管理等を通じたより安全で安心な水の安定供給に努めた。

経営状況については、主たる収益である用水供給収益が当初見込みを上回ったほか、各種経費の節減に努めたものの、第２期創設事業の完了に伴う減価償却費の増加等により、経常損失の計上となった。

なお、令和７年度決算の概要は、以下のとおりである。

１ 予 算 の 執 行

(1) 収益的収入及び支出

収入では、

予算額	決算額	予算額に対する増減△	収入率
円	円	円	%
3,071,657,000	3,180,573,841	108,916,841	103.5

支出では、

予算額	決算額	不用額	執行率
円	円	円	%
3,432,596,000	3,219,966,528	212,629,472	93.8

となり、収益的収入支出差引において、予定不足額360,939,000円に対し、決算では39,392,687円の不足額で、差引321,546,313円の好転となった。

(2) 資本的収入及び支出

収入では、

予算額	決算額	予算額に対する増減△	収入率
円	円	円	%
0	0	△ 0	0.0

支出では、

予算額	決算額	不用額	執行率
円	円	円	%
1,491,476,000	1,490,366,380	1,109,620	99.9

となった。

２ 建 設 改 良 事 業 の 概 況

建設改良費の総額は、605,000円で、この内容は、

固定資産取得費　　605,000円

となった。

3 業 務 の 概 況

供給水量等については、

区　　分	業　務　量
年　間　基　本　水　量	20,049,815 m^3
年　間　有　収　水　量	20,913,625 m^3
年　間　供　給　水　量	20,893,334
1　日　最　大　供　給　水　量	63,637
1　日　平　均　供　給　水　量	57,242

となった。